

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 ひまわりの丘再整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内 2617)

E-mail：[c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 646,100 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出 金	分担 金負 担金	使用 料手 数料	財産 収入	寄附金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	646,100	0	0	0	0	0	0	516,800	129,300
決定額	646,100	0	0	0	0	0	0	516,800	129,300

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ひまわりの丘は、県立施設として岐阜県障がい者総合支援プランに位置づけられる次の機能や役割を担っている。
  - ・高齢化・重度化等により支援が困難な障がい者のセーフティネット機能
  - ・強度行動障害など社会情勢に応じた研修などの人材育成機能
  - ・障がい者の就労センター機能 等
- 県立ひまわりの丘 (第三・第四学園) は、施設の老朽化 (築 40 年超) 及び利用者に適した環境の改善のため施設の再整備が急務となっているため、平成 25 年度に本施設の指定管理者である (社福) 岐阜県福祉事業団と清流園方式 ※1 により新施設の整備・運営を行うことで合意し、再整備を実施してきた。
- 事業団では、「社会福祉施設等施設整備費国庫補助金」の活用を前提として再整備計画に合意したところであるが、H26 年度末に国から県立施設の民間移譲案件は国庫補助の対象外とする旨が示され、実際に H27 年は 3 都府県 3 施設が不採択となった。
- このため、事業団が県立施設 (ひまわりの丘) の移譲に伴う老朽化施設の建替え工事を、計画的かつ安定的に実施できるよう、整備費用に対する国庫補助

金相当額の支援を行い、再整備計画を推進する。

## (2) 事業内容

- 事業団が県立施設(ひまわりの丘)の移譲に伴う老朽化施設の建替え工事を、計画的かつ安定的に実施できるよう、整備費用に対する国庫補助金相当額を補助金として交付する。

<R2 国補助単価>

本体(日中) 382,300、施設入所加算 253,000、短期入所加算 10,800

### 【補助理由】

- 本事業は、県立障がい福祉施設の建替えに対し、「県の財政負担の軽減」及び「より効率的な運営」を図るため、県が本来担うべき機能を事業団に移譲し、整備・運営するものであること。
  - 平成27年度に国庫補助金不採択となった3都府県では、国庫補助金相当額の財政支援を実施していること。
- ※1 「清流園方式」: H22 に県から事業団へ委譲した「清流園」の再整備時には、県が既存施設解体・土地の無償貸付けを行い、事業団が国庫補助及び県費による上乗せ補助を受けて施設を整備した。

## (3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	646,100	補助金
合計	646,100	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県障がい者総合支援プラン

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	ひまわりの丘再整備事業費補助金
補助事業者（団体）	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
補助事業の概要	<p>（目的）事業団が県立施設（ひまわりの丘）の移譲に伴う老朽化施設の建替え工事を、計画的かつ安定的に実施できるよう、整備費用に対する国庫補助金相当額の支援を行い、「県の財政負担の軽減」及び「より効率的な運営」を図る民間移譲を促進する。</p> <p>（内容）県立ひまわりの丘の建替えに係る経費のうち、社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱が定める補助額（県義務的負担含む）と同額を補助する。</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>（内容）国庫補助基準額相当額 補助率 3/4</p>
補助効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県負担の財政負担の軽減</li> <li>・ 県立施設の民間移譲の促進</li> </ul>
終期の設定	<p>終期</p> <p>令和4年度（理由）ひまわりの丘再整備の完了</p>

### （事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</li> <li>・ 令和4年度までにひまわりの丘（第三・第四学園）の新施設の供用を開始し、併せて第一・第二学園の移譲を行い、ひまわりの丘一体として民間移譲する。</li> </ul>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (H31年度末)	目標 (終期)
①移譲した入所定員数			

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	281,470千円	千円	千円	(予算額) 371,600千円	(要求額) 646,100千円
指標①目標	50人			100人	270人
指標①実績	50人			(推計値) 100人	(推計値)
指標①達成率	18.5%	%	%	(推計値) 37.0%	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>整備事業の実現に向け、国庫補助金の不採択の課題を解決するため、県による財政支援を行い、県立施設の民間移譲を実現する。</p>
---

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>○：必要性が高い      △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○      ひまわりの丘第三学園及び第四学園は、施設の老朽化、利用者の重度化や高齢化という課題を抱えており、両施設の再整備により、これらの課題に対応する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている</p> <p>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>○      平成 29 年度に「いこい棟」、令和 2 年度に「なごみ棟」が供用開始となり、定員 100 人を移譲した。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・<b>廃止</b></p> <p>(理由)</p> <p>ひまわりの丘の再整備が完了するため廃止する。</p>
---